

新作INTERVIEW

スタンダードの日本語訳とオリジナル曲で独自の世界を展開した1stアルバム「時の流れ」を発表

RYUSEI
FUKAGAWA

PROFILE

深川隆成 (vocal)

1963年、茨城県水戸市生まれ。2006年から、ジャズ歌謡の日本語への翻訳を始め、英語歌詞を日本語に翻訳すると文字数が多くなってしまい、そのままでは歌えなかったものを、短歌や俳句の様に同じ意味で文字数を少なくした漢字表現で翻訳することを得意とする。心に寄り添った翻訳を心がけ、さらに歌と歌とを繋ぎ合わせた物語ライブなどを展開。オリジナル曲のリリースや、ライブで得た収益を、人跡無地の地と暮らしながら小学校自給が少なく食費が低く貧困層の多いアフリカの教育支援に寄付する活動も積極的にしている。

WEB-ryusei-fukagawa.com

深川隆成

自分の曲を日本発のジャズ・スタンダードにしたい

1963年茨城県水戸市出身。短歌や俳句の技法にインスパイアされた独自の翻訳方法によってこれまでに約300曲のジャズ・スタンダードを和訳。それらの豊富な楽曲群をもとにしたストーリー性豊かなライブ活動を関東一円で展開するジャズ・シンガー深川隆成。その彼が1stアルバム「時の流れ」を1月7日に発表した。演奏活動と並行してアフリカの教育支援活動にも情熱を注ぐ彼にその熱い想いを聞いた。

取材：早田和音 photo by Alex Kawada 写真提供：Ryusei Fukagawa

